

令和6年度圏域の事業計画・収支計画

(南部地区)

守山学区

小津学区

地域包括支援センター事業計画書および評価:南部地区地域包括支援センター

令和6年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	総合相談支援業務		
基幹からの重点事項	担当地区における地域の相談拠点となるよう広くセンターの周知・啓発を行うとともに、住民に地域の相談窓口として認識してもらえるような取組を進めること。併せて、各学区ごとの高齢者および関係機関等の状況を把握し、円滑なセンター運営のためのネットワーク構築を図ること。また、総合相談フローに基づく緊急度のアセスメントを適切に行い、状況に応じた迅速な対応をめざすこと。			
事業内容	令和6年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫して できている	できている	工夫が必要
1 地域におけるネットワーク構築	担当学区の民生委員・児童委員、福祉協力委員等、公民館と日頃から連携し、地域の高齢者に関する相談などが迅速にできる関係を構築する。	○		
	支援が必要な高齢者等の情報が届くよう、担当学区内の医療機関、商業施設等にセンターの周知啓発を行う。	○		
2 高齢者の実態把握	地域課題を整理し、具体的な取り組みを実施する	○		
3 相談窓口機能	ワンストップサービスの拠点として、関係機関と連携し、支援につなげる。	○		
	相談内容については、3職種で共有し、緊急時には、担当者不在でも速やかに対応できる体制を整え対応する。	○		
4 専門的な相談支援	高齢分野以外の専門的な相談にもワンストップ窓口として対応できるよう、関連する福祉制度についても知識を習得する	○		
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
	南部包括が相談窓口であることの周知啓発をしたことにより、チラシや案内により相談に来られる地域住民が増えた。また、家族支援として高齢分野以外の分野でも広く連携をおこなった。高齢化率の高い2自治会を戸別訪問し実態把握をおこなった。 また、圏域内にある私立高校から依頼を受け、地域の高齢者の実態について知ってもらうことで高齢部門以外の社会資源とも繋がれる取り組みをおこなった。			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○	コメント		
	より工夫して できている	できている	工夫が必要	相談件数の増加から窓口の周知啓発の効果も見られた。私立高校における講座や高齢化率の高い自治会にポイントを絞るなど、効果的なアプローチができている。
	○			

地域包括支援センター事業計画書および評価:南部地区地域包括支援センター

令和6年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	権利擁護業務		
基幹からの重点事項	住み慣れた地域で高齢者が尊厳ある暮らしができるよう、権利擁護のための諸制度の活用を支援すること。虐待対応について、緊急性を常に意識し、必要に応じて担当課や基幹型と連携するなか、迅速な対応を行い早期の終結をめざすこと。また、地域住民や事業所等に対し、虐待の予防につながる取組を実施すること。			
事業内容	令和6年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫して できている	できている	工夫が必要
1 高齢者虐待への対応	虐待通報に限らずハイリスクのケースについてはケアマネや関係者と密に情報共有をはかり、リスクの早期発見と対応に努める。		○	
	高齢者虐待予防の啓発や通報窓口の周知を行い、通報しやすい環境を整備する。			○
2 成年後見制度等の活用促進	権利擁護事業、成年後見制度利用の必要な場合は、速やかに利用支援を行う。	○		
3 消費者被害の防止	サロンや訪問時に消費者被害の有無等の情報を収集する。また、消費生活センター等と連携し、注意喚起を行う。		○	
	消費者被害と思われる相談があった際は消費生活センターと連携し速やかに対応する。		○	
4 その他	成年後見センターもだまや社協と連携し、成年後見人制度、権利擁護事業の利用促進につとめる。	○		
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
	権利擁護の諸制度については積極的に利用支援をおこなった。虐待対応は日頃からハイリスクなケースは関係者と密な連携をはかり状況改善にむけた対応をしているが通報しやすい環境の整備に関しては今後も工夫が必要である。消費者被害の防止については関係者等から相談を受けた際は速やかに消費生活センターや法テラス等に相談できるような支援をおこなった			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○	コメント		
	より工夫して できている	できている	個別事例の丁寧な支援(虐待対応、成年後見制度等の利用)とともに、消費者被害の防止など予防的な活動も実践いただいている。相談しやすい窓口に関する啓発は前年度も課題に挙げられており、その手法を検討するなかで、これまでの取組の継続もお願いしたい。	
	○		工夫が必要	

地域包括支援センター事業計画書および評価:南部地区地域包括支援センター

令和6年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	包括的・継続的ケアマネジメント支援業務		
基幹からの重点事項	地域の高齢者等が本人の能力を活かしながらその人らしい暮らしを継続でき、課題解決のために社会資源を自己決定により活用できるよう、介護支援専門員の活動を支援すること。地域全体のケアマネジメント力の向上に向け、地域の主任介護支援専門員とともに介護支援専門員の資質および対応力の向上に取り組むこと。			
事業内容	令和6年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○ より工夫してできている できている 工夫が必要		
1 包括的・継続的ケアマネジメント支援	支援困難ケースについては、介護支援専門員とともに状況の改善にむけて課題整理をおこなう	○		
2 包括的・継続的ケアマネジメントを行うための環境整備	介護支援専門員が民生委員や地域役員等と顔の見える関係性が築けるよう意見交換会を定期開催する。（年3回程度）	○		
3 地域におけるネットワーク構築	ケースの課題解決にむけて介護支援専門員と関係機関・地域役員等が集まり検討できる場を設ける。	○		
4 その他				
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
	支援困難ケースへの対応や本人の自己決定への支援について、介護支援専門員と共に課題解決にむけて取り組んだ。また、介護支援専門員が地域の支援者と関係づくりがおこなえるよう、地域課題について話し合い相互理解を深められる場を定期的に開催した。（年4回実施した）			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○	コメント		
	より工夫してできている できている 工夫が必要	個別事例に関する支援とともに、地域と介護支援専門員との意見交換会を開催し、そのネットワークづくりに寄与できた。		
	○			

地域包括支援センター事業計画書および評価:南部地区地域包括支援センター

令和6年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	在宅医療・介護連携推進事業		
基幹からの重点事項	地域住民に対して在宅医療や看取りについての情報を広く周知し、在宅医療・介護連携サポートセンターと連携を図るなか、身近な地域で高齢者や家族等が安心して相談できる体制整備を行うこと。出前講座や各種教室等の機会を活用して、エンディングノートの普及啓発・活用促進を図ること。			
事業内容	令和6年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○ より工夫してできている できている 工夫が必要		
1 在宅医療・介護連携事業の周知・啓発	病院からの退院時等、在宅医療・介護連携サポートセンターとの連携を図り、在宅療養、看取りの推進に取り組む。		○	
	家族介護者教室、出前講座等を通して市民への在宅医療、介護に対する啓発を行う。		○	
2 在宅医療・介護連携に関する相談支援	難病、がん末期等のケースは、在宅医療・介護連携サポートセンターを通し、近隣病院の地域医療連携室等と連携を図る		○	
3 在宅医療・介護連携推進のための多職種連携	近隣病院の地域医療連携室等窓口と日頃から連携を密に行い、入退院支援と合わせて在宅での療養支援についても連携をはかる		○	
4 その他				
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
	医療機関の方からの相談・連携依頼が増え退院支援を連携しておこなえた。また、がん末期・終末期ケースについては在サポと役割分担をしながら連携し支援をおこなえた。			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫してできている	できている	工夫が必要	対応事例が増加する中、迅速かつ丁寧な支援を実施し、在サポとの連携も密に行っている。
		○		

地域包括支援センター事業計画書および評価:南部地区地域包括支援センター

令和6年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	認知症総合支援事業		
基幹からの重点事項	認知症基本法に基づき、認知症の人やその家族等が地域で安心して暮らすことができるよう、認知症地域支援推進員が中心となり、認知症に関する正しい知識の普及啓発に努め、チームオレンジ活動を推進することで、共生社会の推進を図ること。認知症初期集中支援チーム員として、認知症の早期発見・早期支援に努め、事例の複雑化の予防に努めること。また、認知症カフェ等を通して認知症の人の社会参加の機会の確保や行方不明高齢者等SOSネットワーク事前登録制度について周知啓発を行い、行方不明時の早期発見・対応に努めること。			
事業内容	令和6年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫して できている	できている	工夫が必要
1 認知症に関する正しい知識の普及啓発	認知症サポーター養成講座を市内の小・中学生が受講していることを周知し、地域での開催を促進する	○		
	認知症サポーター養成講座を、南部包括で開催する。地域に出向き、認知症の正しい知識の普及啓発を行う。		○	
2 認知症初期集中支援の推進	初期集中支援チームと連携し、早期に、必要な医療や適切なサービスにつなぐことにより重症化の予防に努める。		○	
3 認知症の人の社会参加の機会の確保、良質かつ適切な保健医療福祉サービスの提供	カフェボランティアを中心にチームオレンジを立ち上げ、地域での活動の場を増やし、また、メンバーが地域において把握した認知症の人を支援者に繋ぐ役割を担えるよう共に学び合えるチームづくりをおこなう	○		
	当事者・介護者・地域住民が継続して通える「お結びカフェ」を月1回定期開催する。また、当事者がチームの一員として主体的に参加できるよう、役割を持てるよう働きかける。	○		
4 その他	カフェボランティアでチームオレンジを結成し、出張型のお結びカフェを地域で開催できるよう準備をすすめる	○		
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
	オレンジカフェの開催・展開については特に力を入れて取り組んだ。また、圏域内の小売店を訪問しサポーター養成講座の開催・SOS事業所登録についてアナウンスし登録・講座実施へと繋がった。 カフェの取り組みを滋賀県の認知症フォーラム・社会福祉学会にて実践発表をおこなった。			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫して できている	できている	工夫が必要	カフェの開催、啓発活動に加え、学会への実践発表など積極的に取り組まれた。引き続き、認知症人を支える支援や地域づくりに対する実践に期待しています。
	○			

地域包括支援センター事業計画書および評価:南部地区地域包括支援センター

令和6年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	地域ケア会議推進事業		
基幹からの重点事項	地域ケア個別会議を開催し、課題の抽出を行うなか、担当地区の実情に応じた取組、資源開発、政策提言等に努めること。			
事業内容	令和6年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫して できている	できている	工夫が必要
1 地域ケア会議の開催	地域のケアマネジャーから支援困難の相談があったケースの地域ケア個別会議を開催する	○		
2 資源開発および政策提言	地域ケア個別会議で明らかになった地域課題を地域ケア推進会議にあげ、解決のための政策を提言する。			○
3 その他	ケアマネジャーと民生委員と地域役員等とともに地域課題について考え合える勉強会を定期開催する（年2回程度）	○		
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
	地域ケア個別会議で明らかになった地域課題を推進会議にあげるまでの取り組みはおこなえていない。民生委員とケアマネジャーとの勉強会は年4回実施し共に地域課題について考える機会となっている。			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫して できている	できている	工夫が必要	民生委員とケアマネジャーとの勉強会を継続的に実施し、ネットワークづくりとともに地域課題の抽出に取り組まれている。今後はそれらの課題への対応についての検討を期待します。
		○		

地域包括支援センター事業計画書および評価:南部地区地域包括支援センター

令和6年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	家族介護支援事業		
基幹からの重点事項	家族介護者等への支援のため、家族介護者教室等の事業を実施すること。対象者や内容の選定等について、担当地区の地域特性に応じて検討し、多くの住民の参加を促すこと。家族介護者訪問等を活用し、認知症の人のみならず家族等に対する実態把握により、認知症の人及び家族等が地域において安心して日常生活を営むことができるように関係者と連携し支援すること。また、介護者負担の軽減および虐待防止の取組につなげること。			
事業内容	令和6年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫して できている	できている	工夫が必要
1 家族介護者支援事業	テーマを決め、参加しやすい回数で「家族介護者教室」を実施する。	○		
2 家族介護者訪問	「家族介護者訪問」を実施し、訪問前後に介護支援専門員と情報共有することで、必要に応じて連携し、介護負担の軽減をはかる。		○	
3 その他	講座の終了後、介護相談の時間をもつことで、相談しやすい環境をつくる。		○	
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
	介護者教室だけでなく、出前・自前講座後に個別に介護相談を受け付ける機会が増えた。テーマについては外部の専門職を講師として招き介護者の関心の高い内容について講座をおこなった。			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫して できている	できている	工夫が必要	教室の枠の中だけでなく、出前講座などの機会を活用し相談できる場を設けるなど介護者負担の軽減につながるような取組ができた。
		○		

地域包括支援センター事業計画書および評価:南部地区地域包括支援センター

令和6年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	一般介護予防事業		
基幹からの重点事項	地域の介護予防活動について状況把握を行い、住民が自ら参加できるように支援を行うこと。高齢者サロンや自治会の行事等、あらゆる機会を利用して介護予防の必要性や取組について啓発を行うとともに、身近な地域における住民主体の継続的な取組を支援すること。			
事業内容	令和6年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○ より工夫してできている できている 工夫が必要		
1 介護予防把握事業	地域の集いの場を把握し、必要に応じて地域役員等と連携する。また、インフォーマルな社会資源として、介護支援専門員に周知することで、ケアプランへの位置づけを推進する		○	
2 介護予防普及啓発事業	介護予防教室を前期高齢者向け、後期高齢者向けに分けて実施する。教室終了後も継続して取り組めるよう地域の自主教室の情報提供をおこなう。		○	
3 地域介護予防活動支援事業	出張型の介護予防教室を自治会単位で実施する。（2～3自治会）			○
	各会館主催の教室で出前講座を1回以上行うことを目標とし、各会館と連携をはかる		○	
4 その他	両学区の広報誌に健康や、介護予防などの記事、主催事業の案内などを掲載することで、介護予防や包括の情報を広く発信する。		○	
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
	インフォーマルな社会資源としてケアマネジャーに紹介をおこなうことにより、ケアマネジャーからも問い合わせがあるようになった。出張型の介護予防教室については未実施であるが計画を進めている。それ以外にも高齢化率の高い自治会に個別に相談し半期計画で取り組みをおこなった。			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○	コメント		
	より工夫してできている できている 工夫が必要	高齢化率の高い自治会にポイントを絞るなど工夫して実施されている。今後、出張型の教室の実施について期待しています。		

(様式3)

令和7年4月15日

守山市地域包括支援センターあて

居宅介護支援事業所選定支援状況報告書

事業所名 守山市南部地区地域包括支援センター

令和7年3月末現在

1 利用者が決定した事業所等件数（令和6年4月～令和7年3月）

居宅介護支援事業所名	件数	主な決定理由
有限会社びわこメディカル	3	・要支援者受入れ可能事業所調整 ・困難ケース受け入れ可能事業所調整
ゆうらいふ	13	・要支援者受入れ可能事業所調整 ・家族の希望を受け調整 ・即時対応可能事業所調整 ・医療に強い事業所調整
社会福祉法人慈恵会 ゆいの里守山	8	・要支援者受入れ可能事業所調整 ・知人や家族が利用していたため ・本人の希望を受け調整 ・家族の希望を受け調整 ・困難ケース受け入れ可能事業所調整 ・即時対応可能事業所調整
医療法人小西醫院	2	・要支援者受け入れ可能事業所調整 ・即時対応可能事業所調整
くらしサポート華	9	・困難ケース受け入れ可能事業所調整 ・家族の希望を受け調整 ・要支援者受入れ可能事業所調整 ・知人や家族が利用していたため ・本人の希望を受け調整
社会福祉法人友愛三宅ケアセンター	5	・要支援者受入れ可能

		・ 困難ケース受け入れ可能事業所調整 ・ 即時対応可能事業所調整 ・ 男性ケアマネが適切と判断し調整
ケア・サポート愛	16	・ 即時対応可能事業所調整 ・ 家族の希望を受け調整 ・ 困難ケース受け入れ可能事業所調整 ・ 要支援者受け入れ可能事業所調整 ・ 医療に強い事業所調整 ・ 知人や家族が利用していたため
メディケア湖南	1	・ 知人や家族が利用していたため
しみんふくししが 野洲	1	・ 家族の希望を受け調整
医療法人社団 真下胃腸科医院	2	・ 知人や家族が利用していたため ・ その他（家族が直接調整し決定）
すこやか生活支援センター	1	・ 家族の希望を受け調整
コープしが ケアプランセンターぽこ野洲	1	・ 知人や家族が利用していたため
社会福祉法人守山市社会福祉協議会	2	・ 家族の希望を受け調整 ・ 即時対応可能事業所調整
しがそせい苑	5	・ 要支援者受入れ可能事業所調整 ・ 困難ケース受け入れ可能事業所調整 ・ 即時対応可能事業所調整
あいむケアプランセンター	4	・ 即時対応可能事業所調整 ・ 本人の希望を受け調整
ケアプランセンター あやめの里	5	・ 困難ケース受け入れ可能事業所調整
ケアプランセンター向日葵野洲	1	・ 要支援者受入れ可能事業所調整
おうみの里ほたる	3	・ 即時対応可能事業所調整 ・ その他（本人の状況より判断）
医療法人周行会	3	・ 困難ケース受け入れ可能事業所調整
いおり	1	・ 要支援者受け入れ可能事業所調整
またあした	4	・ 即時対応可能事業所調整
ひびきプランセンター	2	・ 要支援者受入れ可能事業所調整 ・ 即時対応可能事業所調整

ケアコネクション	1	・ 要支援者受入れ可能事業所調整
JA レーク滋賀守山	1	・ 男性ケアマネが適切と判断し調整

〈令和 6 年 3 月現在調整件数 94 件〉

2 全体評価

- ・ タイミングによっては、要介護の受け入れも難しいと断られることがあった為、これまで依頼していなかった他市の事業所へも依頼した。居宅の決定までに十数件連絡することもあり、ケアマネジャー探しが大きな負担になっている。
- ・ インセンティブが開始されてからもあまり以前と受入れが変わらない事業所が多い印象である。
- ・ 要支援者受入れ可能事業所・困難ケース受け入れ可能事業所は限られており、同じ事業所に負担がかかっているのではないかとと思われる

(様式4)

令和6年度収支計算書および収支決算書

守山市（南部地区）地域包括支援センター

(単位：千円)

区分	項目		R6 予算額		R6 決算額		R5 決算額		決算比較
			金額	積算根拠	金額	決算の説明	金額	決算の説明	R6-R5
収入	委託料	市地域包括支援センター委託料	42,439		42,439		28,898		13,541
	その他収入		0		0		0		0
	収入合計 (a)		42,439	何度	42,439		28,898		13,541
支出	人件費	正規職員	32,996	職員6名、給与、賞与、社保、退職金	28,742	職員5名、給与、賞与、社保、退職金	21,592	職員4名、給与、賞与、社保、退職金	7,150
		臨時職員	4,625	職員1名、給与、賞与、社保、退職金	4,420	職員2名、給与、賞与、社保、退職金	4,351	職員2名、給与、賞与、社保、退職金	69
	事務費	報償費	24	外部講師謝礼等	25	外部講師謝礼等	0		25
		旅費	9	駐車場代等	3	内部・外部研修参加費、旅費	88	内部・外部研修参加費、旅費	-85
		消耗品費	737	事務用品、複写機使用料、日用品等	594	事務用品、複写機使用料（保守）、日用品、等	153	事務用品、複写機使用料（保守）、日用品、等	441
		燃料費	172	車両燃料費等	234	車両燃料費	94	車両燃料費	140
		印刷製本費	208	名刺、求人関係、等	92	名刺、求人関係、等	122	名刺、求人関係、等	-30
		医薬材料費	12	感染症対策関連等（消毒液、マスク等）	15	感染症対策関連等（消毒液、マスク等）	0	消毒液等（コロナ感染対策）	15
		通信運搬費	481	電話・有線使用料、携帯電話使用料、光回線接続料等	480	電話・有線使用料、携帯電話使用料、光回線接続料、切手、等	427	電話・有線使用料、携帯電話使用料、光回線接続料、切手、等	53
		保険料	185	車両関係保険料、賠償保険料	128	車両保険料、施設賠償保険	135	車両保険料、施設賠償保険	-7
		使用料および賃借料	1,696	車両賃借料、事務機器賃借料、Zoom、サーバー等	1,411	車両賃借料、事務機器賃借料、Zoom、駐車場、等	1,377	車両賃借料、事務機器賃借料、Zoom、駐車場、等	34
		委託料	349	ソフト・コピー機・PC関係等保守料、等	354	経営、会計、社労士事務所顧問契約、通信機器保守料・職員健康診断・予防接種・PCセキュリティ、サーバー保守、等	216	経営、会計、社労士事務所顧問契約、通信機器保守料・職員健康診断・予防接種・PCセキュリティ、サーバー保守、等	138
		備品購入費	204	事務用備品等	0		0		0
		修繕費	134	車両・OA機器等修繕	0		0		0
									0
	その他雑費	607	研修費、諸会費、茶葉代・健診費、インフルエンザワクチン接種、水等	840	研修費、諸会費、茶葉代・健診費、インフルエンザワクチン接種、水等	161	諸会費、茶葉代・健診費、インフルエンザワクチン接種、水等	679	
	支出合計 (b)		42,439		37,338		28,716		8,622
収支差 (a)－ (b)			0		5,101		182		4,919

※この表は、毎年4月1日～翌年3月31日及び収支決算を記載して下さい。